

農業用機械の安全使用について

～刈払機編～



写真: 刈払機の安全使用に関する研修風景

共同活動と草刈り

農業農村には、食料生産の場のほかに、生態系の保全、農村景観の保全、災害の防止、やすらぎの空間の創出、伝統・文化の継承といった様々な役割があります。それらの役割を農業農村が持つ「多面的機能」といいます。

「多面的機能」の維持及び発揮には、地域の共同活動が不可欠です。こうした共同活動は、地域のリーダーである「ふるさと・水と土指導員」をはじめとする農家を中心に、集落全体で取り組まれています。

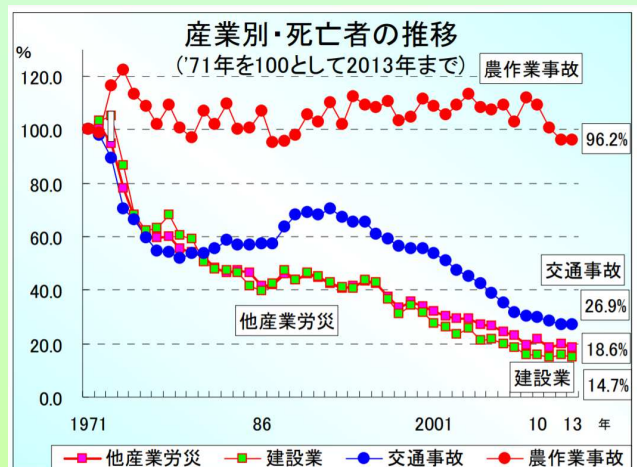
主な共同活動の中で、刈払機を用いた草刈りは実施回数も多く、危険を伴う作業のため、安全管理に細心の注意が必要となります。

今年度、山梨県中北農務事務所では、農業用機械の安全使用に関する研修会を開催しました。講義形式と実技形式の2本立ての研修会で、使い慣れていても忘れがちな、刈払機の安全使用のポイント、ケガ等の防止についてスキルアップを図りました。

農作業の安全管理

農作業中の死亡事故は、毎年300件以上発生しています。労働基準法や労働安全衛生法の制定等に伴い、農作業以外の死亡事故は年々減少傾向にありますが、農作業中の死亡事故については、ほぼ横ばいで推移しています（右表参照）。

死亡事故は記録として残りますが、記録に残らないケガの件数はこの10倍から100倍以上あるといわれています。自然を相手にする農作業は、労働条件や労働環境の改善は難しいため、一人一人が安全管理に対する意識を高めることが必要になります。



農林水産省HPより引用

研修会の様子①



テキストとDVDを使った、講義形式の研修の様子です。テキストでは刈払機の基礎知識、取り扱い及び作業方法、点検整備のポイントを中心に説明し、DVDでは実際の災害事例や、事故熱中症やケガが発生した場合の対処方法について確認してもらいました。

普段使い慣れている刈払機でも、講義を受ける機会は多くないので、改めて安全使用に対する意識付けができたのではないのでしょうか。

研修会の様子②



ゴーグルを始めとする安全装備の装着方法、刈払機の使い方について実践しました。慣れない装備と、正しい刈り方を意識することに最初は苦戦しましたが、コツを掴むとスムーズに作業を進めていました。

作業後にはメンテナンス方法についても学びました。機械を長持ちさせる為に、こまめなメンテナンスが欠かせないことや、普段感じている機械の疑問について確認しました。

豆知識

刈払い対象物に当てる位置

キックバックを
起こしやすい部分

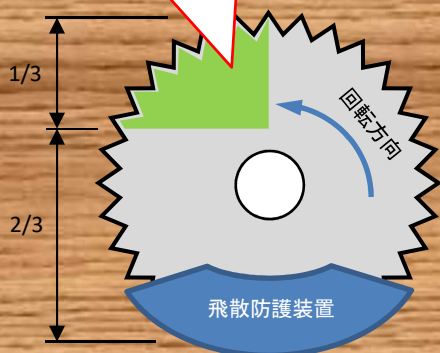


図 1

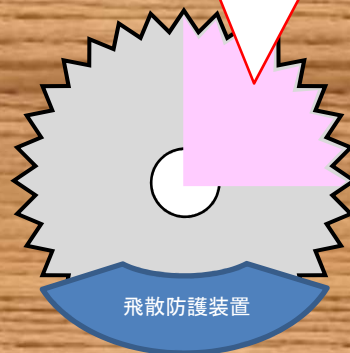


図 2

草刈り作業をするとき、時間短縮を意識して刈刃の左右両方を使っていますか。効率よく刈るには、刈刃の左側3分の1の位置を使います（図1緑色箇所）。右側に示す位置（図2ピンク色箇所）で刈ると、切り株等の障害物に接触した際にキックバック 刈払機がはじかれる現象）が起りやすく、非常に危険です。緑色の部分で刈るように意識してみてください。